

件名：平成27年度在外公館文化事業「日本文化の日」

平成28年3月27日掲載

2016年3月19日及び26日の2日間、キンシャサ市内高等教育学院(ISP)敷地内、日・コンゴ民主共和国文化センターにて、日本大使館と同センターの共催のもと、「日本文化の日」が開催されました。

本事業の会場及び共催機関となった日・コンゴ民主共和国文化センターは、平成23年度草の根文化無償で建設された教育施設です。同センターでは、定期的に日本語講座、柔道教室が開催されており、学生や一般市民に広く利用されています。

「日本文化の日」は2日にわたって行われ、1日目となった3月19日には日本映画「南極料理人」を上映後、アニメ・漫画に関する講義が行われました。また、2日目となった3月26日には、日本映画「やじきた道中てれすこ」及び「ホテル・ハイビスカス」の上映後、野口臨時代理大使による挨拶に続き、日本食レクチャー及びデモンストレーションが行われました。

本事業には、日本語勉強中の学生、日本語に興味ある学生、一般市民及び報道関係者等約200名が参加し、「映画を通じて、日本の家族愛や家族のあり方、日本の生活方法について理解が深まった」、「映画で観た日本の良い点を、コンゴ民主共和国にも取り入れていきたい」、「日本食を生まれて初めて食したが、様々な食材を無駄なく使う点に感動した」といった様々な感想が寄せられました。

本事業では、映画及び料理を通じた日本文化の振興に寄与すると同時に、日本に興味ある学生を中心に多数動員することができ、将来を担う若者層による我が国への関心の増大及び対日理解の促進に貢献することができたと考えます。



映画「南極料理人」の上映前に挨拶をするエロンゴ日・コンゴ民主共和国文化センターマネージャー（写真奥左）および高橋書記官（写真奥右）



漫画の講義を熱心に聞き入る参加者



日本食のレクチャー・デモンストレーションの会場で、開会の挨拶を行う野口臨時代理大使（写真中央）。



日本食（お好み焼き）のレクチャー・デモンストレーションを行うマホ口氏（写真中央奥、日本滞在歴25年）。参加者は同氏の話に熱心に聞き入っていた。



参加者による日本食（お好み焼き）試食の様子。「ピザに似ている」、「様々な食材を無駄なく使う料理に感動した」、「日・コンゴ民主共和国の料理の共通点を見いだした」といった声が上がった。